

## 迎春



# 町民の皆さんと共に歩む 新たな年の始まり

月形町長 上坂 隆一

新年、あけましておめでとうございます。町民の皆さんと共に、令和8年という新しい年を迎えることができましたことに感謝申し上げますとともに、日頃から町政に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、令和6年に開業した町民保養センターと道の駅がこれから月形町にとって新たな拠点としてスタートすることができました。保養センターは町民の皆さんにとって、憩いの場として、観光や地域交流の拠点として、非常に重要な施設となりました。これは、

地域経済の活性化だけでなく、町民同士のつながりを強化し、町の魅力を外部に発信する大きな役割を担うものです。今後も皆楽公園エリアを町の観光拠点として、現状の成果をしっかりと次年度に活かし、より一層の集客と地域の活性化を目指してまいります。

また、令和7年度からは「第5次総合振興計画」および「第3期創生総合戦略」が本格的に始まりました。この計画では、農業の振興と農村環境の保全、快適で安全・安心な住環境の整備、テレワークによる時間や場所に捉われない柔軟な働き方の実現、アフターコロナ対策はもとより、人口減少・超少子高齢化社会の到来や頻発する

自然災害、デジタル社会の推進、SDGs（持続可能な開発目標）の推進等、多くの課題に取り組んでまいります。

義務教育学校の建設については、慎重に議論を重ねた結果、当面は建設着工を見送る決定をいたしました。学校建設に伴い検討が必要な学童保育所の移転や通学路の整備など、さらに協議が必要なものもあり、現在の状況を踏まえて最も適切な時期を見極めていくことが重要だと考えています。今後も町民の皆さんとの意見をしつかりと聞き、次のステップに進むべきタイミングを見定めていく所存です。

令和8年も、町民の皆さんと共に「みんなでつくる未来 共に歩むまちづくり」を進めてまいります。町の発展は、町民一人ひとりの力の結集によって支えられています。私たちは、皆さん方がより快適で豊かな生活を送れるよう、さらに努力していくとともに、町民の皆さんからのご意見やご提案を大切にしてまいります。

町をさらに良くしていくためには、町民の皆さんの連携が何よりも重要です。今年も引き続き、町民の皆さんとの協働を大切にし、共に手を取り合って、より住みやすい町づくりに取り組んでまいります。町民一人ひとりの意見を尊重し、それを実現するために全力を尽くしてまいります。

まいります。

本町を取り巻く環境は、町の基幹産業である農業や商工業の振興、担い手の確保など多岐にわたっており、月形町農業協同組合や月形商工会とも連携しながら、月形町の発展および振興に努めてまいります。

副 町 長 藤原 栄一  
教 育 長 兼平 晃成

# 迎春



## 議会一丸での取り組みを 登

町民の皆さん、新年明けましておめでとうございます。

新春を迎え、月形町議会を代表いたしまして、心からお慶びを申し上げます。

また、町民の皆さんには、常日頃から議会活動に対しご理解とご協力をいただき、さらに温かいご支援を賜りまして、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年は、1月の日本海側での大雪や8月の九州地方での記録的な大雨など、異常気象による災害もありましたが、2月の岩手県大船渡市の山林火災、3月の岡山県および愛媛県における山林火災、最近では11月の大分市の大規模火災など、大きな火災の発生が目立ちました。住まいを失い、今もなお避難生活を余儀なくされている方が多数おられることに、被災された皆さまに対しまして心よりお見舞い申し上げます。

また、12月には青森県東方沖を震源とする地震があり、日頃の備えについて改めて考えさせられました。

さらに、全国各地でクマによる被害が毎日のように報道され、犠牲者が過去最多となる異常な事態となっています。月形町においてもクマ出没の痕跡や目撃情報が数多く寄せられ、不安

な状況が続いていますが、獣友会や警察などのご協力をいただきながら町でいち早く対応に当たっていただき、関係各位のご尽力に感謝を申し上げる次第です。

国外では、各地における紛争で不安定な世界情勢が続いており、特にロシアのウクライナ侵攻は、3年が経過した今も和平への道のりは困難な状況です。これらは日本国民の生活にも大きな影響を与え続けています。

国内の情勢としては、昨年7月の参議院議員通常選挙で与党が過半数を割り込み、自公連立政権から自維連立政権への転換や女性初の首相となる高市内閣の発足など、大きな変化があり、国民の政治への関心が高まっています。一方で、高市首相の台湾有事発言により中国との緊張状態が続いており、期待と不安が交錯する状況となっています。

月形町では、昨年、財政的な理由により義務教育学校の建設を見送るという判断がなされ、町民の皆さんを落胆させる結果となってしまいました。町のさまざまな課題に対応していくためには、財政負担の平準化を図つていかなければならぬという事情もありますが、議会としては町の今後の検討体制と財政状況について注視していきたいと考えております。

昨年は、議会主催の懇談会として、商工業関係団体、農業関係団体の皆さんと意見交換をさせていただきました。本年もまた、別の団体の皆さんとの懇談会を予定しておりますが、もし、地域の会合など機会がありましたら、皆さまの声をお聞かせいただきたく、積極的に出向いて行きたいと思っておりますので、遠慮なく声をかけていただければ幸いです。

残りの任期1年余り、町民の皆さん多くの多くの声を町政に届けられるよう、また、必要に応じて国や道への要望活動を実施していくよう議会一丸となつて努めて参ります。

結びに、新しい年が町民の皆さんにとつて、健康で喜びと幸せに満ちた実り多き年となりますことを心からご祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

副議長 我妻 耕  
議会運営委員会委員長 松田 順一  
まちづくり常任委員会委員長 東出 善幸  
議議員 金子 廣司  
若井 昭二  
滝口 伸  
西山 富夫